

## 1: 化学品及び会社情報

製品名	Monarch Proteinase K
製品番号	T2001-1
登録番号	情報なし

### 安全データシートの供給者の詳細

#### 供給者

ニュー・イングランド・バイオラボ・ジャパン株式会社  
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-2-3 倉持ビル第  
2-03-5669-6195  
tech.jp@neb.com

緊急連絡電話番号 03-5669-6191

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	情報なし
推奨されない用途	情報なし

## 2: 危険有害性の要約

### GHS 分類

皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3

### ラベル要素



注意喚起語  
危険有害性情報  
皮膚刺激  
強い眼刺激

警告

### 注意書き

予防  
・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること

**対応**

- ・該当しない
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること
- ・汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
- ・汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること

**保管**

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと
- ・施錠して保管すること

**廃棄**

- ・内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

**他の危険有害性**

情報なし。

**3: 組成及び成分情報****化学物質・混合物の区別**

混合物

化学名	CAS番号	重量%	ENCS Inventory	化審法番号	ISHL Inventory	安衛法番号
Proteinase K	39450-01-6	90 - 100%	No Information		Existing	Present 11-(4)-792 (Bacillus licheniformis, into which protease producing gene of Bacillus lentus was introduced)

**化学物質排出把握管理促進法(PRTR)**

該当しない

**労働安全衛生法****通知対象物質**

該当しない

**表示物質**

該当しない

**毒物及び劇物取締法**

該当しない

**4: 応急措置****一般的なアドバイス**

治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。

**吸入**

空気の新鮮な場所に移すこと。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚接触	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ、皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。直ちに石鹼と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。
眼接触	上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。
経口	無理に吐かせないこと。水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
症状	咳および/または喘鳴、掻痒感、発疹、灼熱感。
応急措置をする者の保護	医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は8項を参考する。
医師に対する特別な注意事項	敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

## 5: 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。吸入および皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

## 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人保護具を使用すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出/漏えい(洩)の風上に遠ざけること。
緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次危険有害性の予防	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。

**7: 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。放出が発生する場所には排気換気を設けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
一般的な衛生注意事項	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類および手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。

**保管**

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。
---------	---

**8: ばく露防止及び保護措置**

技術的対策	シャワー 洗眼場 換気システム。
許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的職業性ばく露限界値	供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない
環境ばく露防止	情報なし。
<b>個人用保護具[ PPE ]</b>	
呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。
手の保護具	適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。
眼 / 顔の保護具	サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。

**9: 物理的及び化学的性質****物理的及び化学的性質に関する情報**

外観	粉末
物理的状态	粉末
色	情報なし
臭い	軽度
臭いのしきい値	情報なし

特性	値	備考・方法
融点 / 凝固点		情報なし
沸点 / 沸点範囲		情報なし
燃焼性(固体、気体)		情報なし
燃焼又は爆発の上限/下限		
可燃性又は爆発性の上限		
燃焼又は爆発の下限		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
分配係数(n-オクタノール/水)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度		情報なし
相対密度		情報なし
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない
<b>その他の情報</b>		
爆発性		情報なし
酸化特性		情報なし

## 10: 安定性及び反応性

安定性及び反応性	情報なし.
安定性	通常の条件下で安定.
危険有害性反応危険性	通常のプロセスではない.
混触危険物質	強酸. 強塩基. 強酸化剤.
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし.
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし.
機械的衝撃に対する感度	なし.

## 11: 有害性情報

### 急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報  
情報なし

混合物の 100 %は急性経口毒性が未知の成分から成る  
混合物の 100 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る

混合物の 100 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る  
 混合物の 100 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る  
 混合物の 100 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

症状	咳および/または喘鳴. 発赤. 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある.
製品情報	
経口	この化学物質または混合物の特定試験データはない。「吸入」の項目に記載されている追加的影響を生じるおそれ. 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある.
吸入	この化学物質または混合物の特定試験データはない. 敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある.(成分に基づく). 気道刺激を引き起こすおそれ.
皮膚接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない. 反復または長期にわたる暴露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある.(成分に基づく). 皮膚刺激.
眼接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない. 眼を刺激する.(成分に基づく). 強い眼刺激.
皮膚腐食性 / 刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類. 皮膚を刺激する.
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類. 強い眼刺激.
呼吸器感作性又は皮膚感作性	吸入により感作を引き起こすことがある.
生殖細胞変異原性	情報なし.
発がん性	情報なし.
生殖毒性	情報なし.
特定標的臓器毒性 - 単回ばく露	呼吸器への刺激のおそれ.
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	情報なし.
誤えん有害性	情報なし.

## 12: 環境影響情報

生態毒性	この製品の環境に与える影響は完全には調査されていない.
残留性・分解性 生体蓄積性	情報なし. 情報なし.
他の有害影響	情報なし.

## 13: 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること. 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること.
汚染容器及び包装	空容器を再利用しないこと.

## 14: 輸送上の注意

IMDG	規制対象外
------	-------

<u>ADR</u>	規制対象外
<u>IATA</u>	規制対象外
<u>日本</u>	規制対象外

## 15: 適用法令

### 国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造棟の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

### 国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

### 国際インベントリー

TSCA

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

DSL/NDL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AICS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

### 凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

## 16: その他の情報

改訂日	13-2-2020
改訂記録	情報なし。

**安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例**

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

**本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源**

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)  
 米国環境保護庁ChemViewデータベース  
 欧州化学品局  
 欧州食品安全機関(EFSA)  
 EPA(環境保護庁)  
 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)  
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
 米国環境保護庁高生産量化学物質  
 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
 危険有害性物質データベース  
 国際統一化学情報データベース(IUCLID)  
 日本GHS分類  
 国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)  
 NIOSH(米国労働安全衛生研究所)  
 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)  
 National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)  
 米国国家毒性プログラム(NTP)  
 ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)  
 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
 世界保健機構

**免責事項**

このSDSは、JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012(日本)の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

**安全データシートのおわり**